

平成29年度 第3回 飛騨神岡高等学校
地域連携による活力ある学校づくり推進協議会 議事要旨

| | |
|-------------------------------|---|
| 日 時 | 平成30年1月31日(水) 10:00~12:00 |
| 場 所 | 飛騨神岡高校 ゼミナール室 |
| 出席者 (敬称略、 委員名は 50音順) | <p>(委員)</p> <p>岩 塚 藤 嗣 飛騨市立神岡小学校 校長 上 田 昌 子 飛騨市役所企画部地域振興課 牛 丸 昌 弘 神岡鉱業株式会社 常務取締役 上 葛 健 介 社会福祉法人神東会 事務局長 (飛騨神サポーター) 菊 田 昇 司 北陸電力株式会社神岡営業所 所長 小 西 清 明 飛騨市立山之村小中学校 校長 下 田 章 有限会社カワデン 代表取締役 (飛騨神サポーター) 下 出 尚 弘 飛騨市教育委員会 学校教育課長 十 松 昭 英 飛騨市神岡振興事務所 所長 田 口 由加子 NPO法人神岡・町づくりネットワークレールマウンテンバイク事務局 都 竹 淳 也 飛騨市長 出 井 裕 樹 牛丸石油株式会社 代表取締役 中 村 篤 志 飛騨市企画部地域振興課 係長 布 俣 正 也 岐阜県議会議員 水 口 寛 俊 飛騨神岡高等学校育友会 会長 森 田 雄一郎 飛騨市企画部地域振興課 課長 山 口 郁 夫 山口鉄工所 代表取締役 (飛騨神サポーター) 山 本 幸 一 飛騨市教育長 湯之下 明宏 飛騨市役所企画部 部長 渡 邊 登紀夫 飛騨市立神岡中学校 校長 和 仁 邦 雄 神岡商工会議所 専務理事</p> <p>(高校側)</p> <p>高 田 広 彦 校長 谷 脇 浩 彦 教頭 野 村 宏 治 事務長 宮 垣 雅 巳 教務主任 中 田 和 美 進路指導主事 楯 幸 司 推進担当 中 村 英 樹 担当</p> |
| 議事概要 | <p>1 生徒の発表を聞いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的で少人数ならではの良さが伝わった。特色が生かされている印象を受けた。 ・ 生徒たちが少人数だからこそその良さを説明してくれたように、飛騨神の一番の良さだと思ふ。 ・ 発表してくれた4名の生徒は神岡小学校で4年間一緒に過ごした。生徒たちが述べた学校への感謝の思いや教育熱心な先生との良好な関係が心から伝わってきた。 ・ 生徒たちの話を聞いて飛騨神岡高校の魅力を実感した。どの生徒も言葉遣いも丁寧で、よく成長していると実感した。 ・ 生徒たちの自信がついた様子をうかがえた。 ・ 先ほどの生徒4名の発表は学校の良さがそのまま出ている発表であった。 |

- ・ 発表してくれた生徒のうち3名が夏にレールマウンテンバイクのアルバイトに来てくれた。1人の生徒は1年生から来てくれて3年間見てきたが、とても成長したと感じるし、3人には特別なものを感じる。レールマウンテンバイクが生徒たちにとって社会に出る前の窓口のような立場になれたらと思う。
- ・ 生徒たちの発表は毎年楽しみにしている。我が子と同じ年代なので自分の子にオーバーラップさせて考えることが多い。生徒たちが高校生活を謳歌していることが伝わってくる。毎回いい発表なのでたくさんの方に聞いていただきたい。
- ・ 先ほどの4名の生徒が自分のクラスのことをたくさん話してくれたが、高校でも学級づくりが大切にされていることが分かった。
- ・ 生徒たちの発表を何回も聞かせていただいたが、それが毎回素晴らしく、そのことが現在の私の飛驒神を応援する原動力になっている。この高校の魅力を可視化していくことが大切だと思う。

2 高校の現状について

- ・ 中学生の進路希望調査の状況は市内の高校への進学希望者が10%程度増えているが、さらに増やすにはどうしたらよいかを考える必要がある。部活動における中高の連携もさらに進める方法も検討する必要がある。中学生がどんな意識をもって高校へ進学するのか、中学生の意識はどうかお聞きしたい。
- ・ 少人数のメリットを今後も生かしてほしい。定員いっぱいになると人数が多くなり少人数の良さが維持できるか少し心配。
- ・ 白樺祭が印象に残っているという意見が多かった。平日ということでお父さんが少ないのは仕方がないにしても、お年寄りにもっと来ていただけたらと思う。飛驒神サポーターと連携して飛驒神が発展していくように考えたい。
- ・ 中学生の志望状況について今年度少ないが、学区が廃止され県外募集も始まった。現在の状況を教えてほしい。
 - 問合せはあったが、学区外、県外からの希望は今のところない。
- ・ 現段階で昨年度と比べ志望者が少ない原因は何か？
- ・ 飛驒高山が圧勝。学校のPRが良かったのか他に何が良かったのか要因は分析できていない。第二次選抜があるので安心して第一次選抜に迎えるのでは。
 - 現段階では飛驒高山が圧倒的に多いが、これから現実的に検討されるので今後、吉城高校や本校を希望してくれるとありがたい。

3 今年度の取組について

- ・ 工業技術系列の生徒が富山の企業見学に行かれたことは良いことだと思うし、神岡商工会も北陸の企業との連携の関係もあるが、こちらの生徒が北陸の魅力的な大企業に引っ張られていくのではないかと心配もある。
- ・ 神岡中学校の生徒は中高連携の恩恵を多いに受けている。高校生による先輩と語る会では車座になって中学生に話してくれるのだが、打ち合わせもないのに18歳の青年が堂々と沈黙もなく人生観などを語ってくれ素晴らしかった。2年生にも是非お願いしたいと既に話を進めている。
- ・ 先輩と語る会では高校生が自分たちの進路についても語ってくれた。高校生がどんなふうに進路決定していったのか、中学生が知らないことを話してもらえてとても良い経験になった。
 - ・ 古川中学校の卒業生が同じような話を古川中学校でするとよいと思う。
- ・ MSリーダーズや6年生の高校体験授業はとても良い経験になり評判も良かった。高校体験授業はスポーツ少年団などで参加者が少なかったが継続していただけるとありがたい。

4 来年度の取組について

- ・ 30年度の計画は今年度と何が違うのか、30年度のテーマをクリアに出してはどうか。カリキュラムの中で地域に任せるような取組はできないか。地域行事への参加をもう一步踏み込んで、生徒が受け身ではなく主催者の一員として企画や運営にも正面から取り組めるようなことができれば面白いと思う。
- ・ コミュニティスクールは良い取組だと思う。飛騨神岡高校は県教委がお金を出してくれる都合がいい飛騨市立、飛騨市民立のような位置づけで取り組みたい。
- ・ 「OPEN! 飛騨神」は飛騨神を志望する保護者がメインターゲットだと思うが、どれくらいの割合で来てみえるのか。このままで良いのか、さらにグレードアップが必要なのか、文化祭も同様に土日開催を検討し、飛騨神の魅力を伝えられたらと思う。
- ・ 神岡小学校だけでなく他の飛騨市内の小学校も対象に講座を考えてもらえるとありがたい。
- ・ 振興事務所や街角ギャラリーでの情報発信を続けてほしい。
- ・ ロボットが全国的に認知されているが、ロボットの技術やノウハウを地元企業にも還元してもらえるようなことを検討してもらいたい。
- ・ 宙ドームのメニューについては、実際に提供できるのかどうなのか検討できると面白いと思う。
- ・ 地元企業の企業展は是非とも協力したい。
- ・ 中学校の部活を継続して続けたいという中学生が多いので、部活動交流の形を模索していただきたい。

5 その他

- ・ 中高は連携型一貫教育で進めているが、今年度は小中高の連携を強めるように進めていきたい。
- ・ 先日、飛騨神岡高校から進路変更をした生徒の保護者と話す機会があった。「結果的に仕方がなく進路変更をしたけれど飛騨神岡高校の先生方は親身になって最後まで考えていただき、本当に感謝している。飛騨神岡高校は素晴らしい学校だ。」というお話を聞いた。
- ・ 振興事務所としても通学路の環境整備なども協力していきたい。
- ・ 飛騨神岡高校の良さを市としても発信していく手伝いをしたい。
- ・ 昨年11月には飛騨神サポーター立ち上げることができた。春に向けて本格運用ができるように進めている。地域と学校をつなぐパイプ役として、また、学校とは違う学びの提供をしたい。飛騨神サポーターでロボットを作ってロボワンに出るなど、地域と学校が関わるようなこともしたい。
- ・ 飛騨神サポーターの設立にはご協力いただき有り難い。現在70名の会員が集まっているが1000人を目標に頑張りたい。飛騨神サポーターの缶バッジのデザインを美術部の生徒さんにしていただき決まった。バッジのサイズを検討し発注していく予定。今後はもう一步踏み込んだ活動をしていきたい。